

学校 教育 目標	「自律 自立(ふたつのじりつ)」～自らを律し自立する生徒を育みます～					
	知: 学び方の基礎・基本を身に付け、自ら課題を解決する力 徳: 社会の一員としての規範意識や思いやりのある心 体: 基本的な生活習慣と健やかな身体 公: 地域に積極的に関わり、他者と共生していく社会性 開: グローバルな視点を持ち、多様性を意識した行動力					
学校 概要	創立 57 周年	学校長 平本 正則	副校長 星野 幸稔	3 学期制	一般学級: 12	個別支援学級: 3
	児童生徒数: 400 人		主な関係校: 立野小学校、山元小学校、北方小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	仲尾台中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> 聴く・語る(聞く・話す)力 <問題発見・解決能力>	仲尾台中学校 山元小学校 立野小学校	自律と自立ができる子 「自律・・・約束やルールなどを守り、自分の言動や行動を制御・調整できる。」 「自立・・・学年や発達段階に応じて自ら進んで行動を取り、その責任をもつ。」等 を教職員間で共通理解を図るため、小中合同研修会を年5回行います。 教育課程全体で資質・能力を育成するために、カリキュラム・マネジメントを充実さ せます。授業研究会を実施するなど、特に授業改善に重点を置きます。

中期 取組 目標	○「チーム仲中」として、全教職員で生徒の資質・能力の育成に取り組みます。 ・「自ら考える授業」を大切に、適正・確かな評価を行い、信頼を基盤とした学校づくりを推進します。 ・「自律 自立(ふたつのじりつ)」を目指した教育活動を行い、生徒の日常生活の安定と向上を図ります。 ・誰もが安心して豊かに過ごせるよう、個を尊重するとともに集団の輪を大切にしながら教育活動を進めます。 ・JICAやYOKE等と協働して、新たな教育プログラム等を開発し、グローバル人材の育成に力を注ぎます。 ・学校運営協議会を中心に、自主・自律の学校運営を推進します。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
確かな学力 担当 学力向上P	①「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりに向け、校内授業研究会を年6回実施します。 ②子ども自身の取組が「主体的・対話的で深い学び」になっているのかを判断するために、学期に1回程度振り返りのための授業アンケートを行います。
豊かな心 担当 人権道徳教育推進担当者会	①自ら進んで挨拶できる生徒を育てるため、教職員からも積極的に挨拶をします。 ②日常のあらゆる場面で自律を促し、多様性を尊重する心を養いながら、「人のせいにならない」雰囲気づくりをします。
健やかな体 担当 体力向上P	①新体力テストの結果を基に、体力向上に向けて生徒一人ひとりの目標を定め、実践します。 ②部活動では週2日以上以上の休養日を設け、心身のバランス負担を考えた取り組みを推進します。 ③社会の変化と食育の観点から、ハマ弁を基本とした「仲尾台昼食」への移行を推進します。
教育課程 担当 教育課程委員会	①カリキュラム・マネジメント研究開発校として、小中一貫教育の推進と教科等横断的な学習の実践を軸とした、教育課程の編成を組織的に推進します。 ②新学習指導要領の理念を実現するための手立てを模索し、実践につなげます。
特別支援教育 担当 特別支援委員会	①特別支援委員会の定期開催と内容の充実を図り、支援を必要とする生徒に対する理解を深め、具体的な取組を推進します。 ②関係機関との連携を密にし、横浜国立大学と協働してインクルーシブ教育を推進します。
国際理解教育 担当 国際理解教育担当・学習指導部	①多文化共生・グローバル人材の育成の観点から、JICAやYOKE等と協働して新たな国際理解教育のプログラムを開発及びサンディエゴ市現地校・山手中華学院との生徒間交流を推進します。 ②外国につながる生徒など特に支援が必要な生徒に対して、個に応じた支援をします。
教育環境整備 担当 保健安全指導部	①自助・共助の観点から、全校地域防災訓練や施設点検等の充実を図ります。 ②情報機器の拡充を図る等、社会の変化に対応できる学習環境の整備を推進します。 ③学校教育目標の達成に向け、掲示物等に工夫を凝らすなど具体的な手立てを実践します。
地域連携・ 学校運営協議会 担当 生徒指導部・教務部	①学校運営協議会では専門的な知見を踏まえた学校教育の創造及び山積みする教育課題に対して地域・保護者・学校・学識経験者が協働して取り組みます。 ②地域コーディネーターの協力を得て、「地域人財バンク」を立ち上げ、積極的な活用を推進します。
いじめへの対応 担当 生徒指導部	①個人面談やアンケート調査を定期的に行うなど教育相談体制の充実を図ります。 ②毎朝実施する綿密な情報共有をとおして、組織的に問題の早期発見・解決に努めます。 ③研修会等を通じて、いじめを見抜く教師力の向上と支援体制の充実に取り組みます。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革) 担当 教務部・教育課程委員会	①組織編成の改善や業務整理を一層推進し、授業を中核とした教育活動の一層の充実を図ります。 ②基本的にはOJTで人材育成を行い、メンターチームなどを活用し経験の浅い教員の育成を図ります。 ③ベテラン教員の豊富な経験を積極的に生かすと共に、社会の変化に柔軟に対応するため教員の意識改革を計画的に進め、バランスの取れた組織運営を推進します。